

平成 29 年 2 月 23 日(木) 教育相談に関する研究 第 4 回研究協議会

研究主題 不登校児童生徒への復帰に向けた効果的なアプローチ



はじめに、本研究のスーパーバイザーである跡見学園女子大学山口豊一先生をお迎えし、チームとしての学校が、他職種と協働して不登校児童生徒を援助するための手立てについて、実践事例を交えながら解説をしていただきました。その後、研究協力校 5 校から報告がありました。



〈不登校児童生徒への支援に関する取組についての研究協議の様子〉



午後からは、山口先生のスーパーバイズをもとに、学校代表者と担当指導主事が今年度末から次年度に向けての方向性について話し合いました。研究協力校の先生方には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフを交えた組織的な支援の推進に御尽力いただいております。

この研究は、平成 28・29 年度の 2 か年で進めております。文部科学省が平成 28 年 9 月に発出した通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」には別添で「児童生徒理解・教育支援シート」が示されていますが、研究協力校では、このシートをカスタマイズ（実態に応じた改良改善）し、活用しております。

こうした研究の取組については、平成 29 年 12 月 26 日（火）の茨城県教育研修センター研究発表会で報告します。多くの先生方に御参加いただき、不登校児童生徒への支援の充実を図っていきたいと考えております。